

2015.7.26 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル
中目黒キリスト教会
聖別会マンスリー



2015年

< 聖化の豊かさを味わう > 「聖化の説教」

「きょう選ぶこと」

フリーメソジスト南大沢教会・水口功牧師

「もしも主に仕えることがあなたがたの気に入らないなら、・・・
あなたがたの先祖たちが仕えた神々でも、・・・エモリ人の神々でも、
あなたがたが仕えようと思うものを、どれでも、きょう選ぶがよい。
私と私の家とは、主に仕える。」(ヨシユア 24:15)

ヨシユアが110歳の生涯を閉じる前に、全イスラエルに対して語ったメッセージを学ぶ。

1. 過去の恵みを振り返ること

- ・ アブラハム召命から出エジプト迄の数々の御業
- ・ カナン入国から占領に至る御業　カナンの土地や町々を与えられたのは、自分達が頑張ったからではなく、ただ神の恵みによるのである。
- ・ 恵とは、「ただ」で頂く神からのプレゼントの事である。私たちの持ち物はすべて、神から貰ったものである(1コリント 4:7)。(例：著者の教会の会堂も、若い時に会った良い指導者も)

2. 今、心に留めていくこと

- ・ かつてイスラエルが仕えていた神々(太陽神、月神)、また、今居住しているカナンの土着信仰(豊穡神バアルなど)の影響を除き去ること
- ・ イスラエルは、仕える神を選ぶ自由を持っているが、その自由を用いて自発的に主(ヤハウエ)に仕えることが大切である。

- ・ ヨシユアは、「私と私の家とは」と言って、家族を包括的に捉えている。信仰を個人的レベルに限定してはいなかった。
- ・ 十戒の第一戒「わたしの他に他の神々があってはならない」(出20:2-3)とは、「わたしを超えて」「わたしに加えて」との意味であり、唯一の創造主を崇め、被造物である偶像と創造主を同列においてはならない、との戒めである。
- ・ 奴隷状態から主によって解放されたイスラエルは、その後も、自然を神とする多神教の影響を受け続けていた。日本でも真の神のみを畏れるクリスチャンは、「排他的」との非難を受け易い。
- ・ 神が創造主であることを真に受け入れる時、「自分が神の地位にいたい」という自己中心的考えから救われる。また、私たちが神から選ばれている自覚に立つ時、お金信仰、能力主義、人間中心主義というこの世の価値観から救われる。
- ・ 創造主を「父」と認める時、他の神々に心に移すことは考えられなくなる。

おわりに：

私たちも、「私と私の家は、世の価値観に流されることなく、主のみ仕える。私と私の家を選び、聖め別っておられる主に仕え、人々に仕える」ことを「きょう選ぶこと」として告白しよう。